

今年のぷら임迎賓館は小さなロマンス

今井重幸氏作曲 ピアノとテルミンのための曲『小さなロマンス』を初演いたします。

ぷら임は2006年結成。大西ようこ(テルミン) & 三谷郁夫(ギター・ヴォーカル)からなるユニットです。毎年、多彩なゲストを迎え、ぷら임がプロデュースする小さな音楽会、それが「ぷら임迎賓館」です。

今年のゲストはピアニストの野谷恵。過去に左腕神経を患いながらそれを克服する演奏技術を習得し数々のコンクールに入選・入賞。心に響く演奏は、きっと、あなたに新しい感動をもたらすでしょう。

Prhymx(ぷら임)公式サイト: <http://www.prhymx.com/>

演奏曲目(予定)

- | | |
|--|--|
| <p>第一部(Prhymx)</p> <p>アヴェ・マリア (カッチーニ/曲)</p> <p>モルゲン (R・シュトラウス/曲、マッケイ/詩)</p> <p>茉莉花 (傅聰/曲、蕭頌有明/詩)</p> <p>グリーンスリーブス変奏曲</p> <p>故郷</p> <p>レクイエム2008 (ぷら임曲)</p> | <p>第二部(野谷恵)</p> <p>バラード 第2番 短調 (リスト)</p> <p>前奏曲 嬰ハ短調 "鐘" (ラフマニフ)</p> <p>道化役者 (ラフマニフ)</p> <p>第三部(Megumiのらいミックス)</p> <p>(⇒ 野谷恵とぷら임による一日限りのユニット ⇒)</p> <p>小さなロマンス第2番 (今井重幸) ~初演~</p> <p>夜想曲 第20番 嬰ハ短調 遺作 (F・ショパン、椎名邦仁/曲、史香/詩)</p> |
|--|--|



今井重幸 Shigeyuki Imai

昭和21年より独学で作曲をはじめ、交響詩「狂人の幻影」が縁となり、伊福部昭に入門。のちエドガー・ヴァレーズに師事。昭和28年NHKテレビの開局からスタッフとして参加し、「蜘蛛の糸」「杜子春」「走れメロス」

などの劇伴音楽を作曲。既成の音楽にない斬新な手法で次々と曲を発表、横山はるひバレエ団の「ピノキオ」、江口・宮舞踊団の「蜘蛛の糸」、大野一雄・花柳照奈の「一角獣」、土方巽の「埴輪の舞」等の舞蹈曲を手がけ、その他多くの劇団に楽曲を提供。

まんじ敏幸の名では舞台演出家としても活動し、現代舞台芸術協会を設立、ヨネヤマ・ママコ、土方巽、三条万里子らを世に送り出した。カフカの「審判」やイオネスコの「授業」などの日本初演、創作劇からフラメンコまで多方面にわたって活動する。また、演劇の企画・プロデュースも行い、長嶺ヤス子による55年の芸術祭賞大賞受賞作「娘道成寺」や、58年の「曼荼羅」などをてがける。



ピアノ 野谷恵 Megumi Notani

札幌大谷短期大学卒業後、遠藤道子、I・ラントシュ、E・ヘゲデュシュ、E・アンドレアス、E・リヒテル各氏他、多くの師にピアノを、岩河智子氏に音楽表現法を学ぶ。リスト音楽院セミナーを3回修了。2006年、学費全額免除にてモスクワ音楽院マスタークラス修了。2005年以降、ロマン派音楽コンクール、ベストプレイヤーズ・コンクール、JILA音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール、エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール他、多くのコンクールに入賞入選を重ねる。2008年の演奏活動30周年記念リサイタルが音楽現代誌にて好評を博す



ギター&ヴォーカル 三谷郁夫 Ikuo Mitani

2歳のとき、ラジオから流れるフランク永井の『夜霧の第二国道』を節回しまで完璧にコピーし、周囲を驚かせる。1973年TBSテレビ銀座NOWヤングコンテストにて第2代グランドチャンピオン。その後弾き語り、ラジオCMソング等で活動し、1981年『よわむし』(コロムビアレコード)リリース。2006年、テルミン奏者大西ようことPrhymx 結成。日本各地で演奏を行う。



テルミン 大西ようこ Yoko Onishi

お茶の水女子大学、東京大学大学院で物理学を学び、後にロシアの物理学者テルミン博士の発明した楽器「テルミン」と出会い、テルミン奏者となる。やの雪氏・竹内正実氏に師事。ソロや、デュオで活動の他、やの雪氏率いるテルミンオーケストラに参加。実相寺昭雄監督の遺作となった『シルバー仮面』のサントラや、テレビアニメの効果音等でもテルミンを弾いている(『ゲゲゲの鬼太郎』(フジテレビ系)『妖逆門』(テレビ東京))。茶道裏千家準教授の資格を持ち、高野山で得度した尼僧でもある。

テルミンは、1928年、ロシアの物理学者レフ・セルゲイヴィチ・テルミン博士によって発明された世界最古の電子楽器です。テルミンの大きな魅力の一つに、楽器に触れずに演奏する、という演奏スタイルがあります。物理的なガイドになるものは何もなく、演奏者は単なる箱(と見えるもの)に手をかざして音曲を奏でます。空間の手動きだけでサウンドを紡ぎ出す姿は、しばしば、舞踊の様にうごめくという感想を持つ方もいらっしゃいます。この、ガイドのない空中で音感を頼りに音を紡ぎ出すという演奏技術の習得が極めて困難な為、世界で一番最初に作られた電子楽器でありながら、歴史の波に埋もれてしまっていた幻の楽器、それがテルミンです。



Theremin



2010年1月30日(土) 14:30開演(14:00開場) すみだトリフォニー小ホール
 小ホール半席門券・JR線武蔵線「錦糸町駅」北口より徒歩3分 全席自由・税込3,000円(当日:3,500円)
 ※当日券は出ない場合もあります。※前売券13,455となるプレミアムチケットも販売しております。3,500円(前売券のみ)
 チケット取扱い 彩企画:080-5436-0828 theremin-japan@ezweb.ne.jp
 東京国際芸術協会:03-3809-9712 <http://www.tiaa-jp.com/scb/shop/>
 後援:ロシア連邦大使館、国際芸術連盟、東京国際芸術協会 主催:お笑いあわせ:彩企画 080-5436-0828

